

マーケットの動き (2021年12月13日～12月17日)

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

週初は、FOMC（米国連邦公開市場委員会）を控え投資家の様子見姿勢が強く方向感に乏しい展開となりましたが、15日に国内大手自動車メーカーが電気自動車の世界販売目標を大幅に引き上げたことを好感し、小幅に反発しました。その後は、FOMCを無難に通過したことから上昇したものの週末にかけて上値は重く、週を通しての上げ幅は小幅に留まりました。

投資環境見通し (2021年12月)

国内株式相場は相対的な割安感を背景に、底堅く推移

新型コロナウイルスの変異型「オミクロン型」を巡る企業活動への影響や、原材料コスト上昇の製品価格への転嫁が進まない可能性から、企業業績の改善が停滞することが考えられます。しかし、時間の経過とともに部材供給制約は緩和するとみられ、生産活動の回復や、国内での経済活動再開の進展、政府の追加経済対策による景気下支えなどを背景に、コスト増の影響を相当程度吸収しつつ、企業業績は回復に向かうと考えています。国内株式相場は当面、新型コロナウイルス「オミクロン型」を巡る動向に神経質な展開が続くとみられますが、米国や欧州に比べて相対的な割安感も評価されつつ底堅く推移すると予想しています。

	12月17日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	1,984.47	0.46%	▲2.64%	1.06%	10.70%
日経平均株価	28,545.68	0.38%	▲3.85%	▲1.63%	6.49%

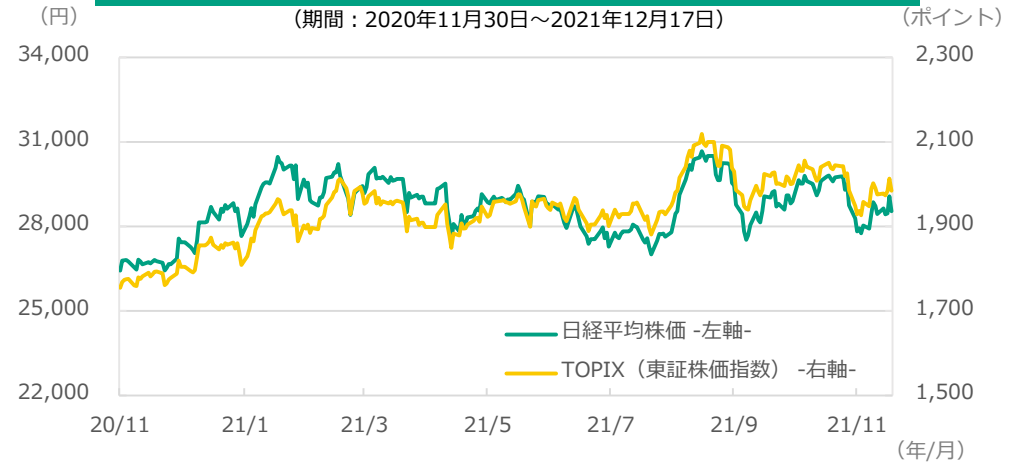
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

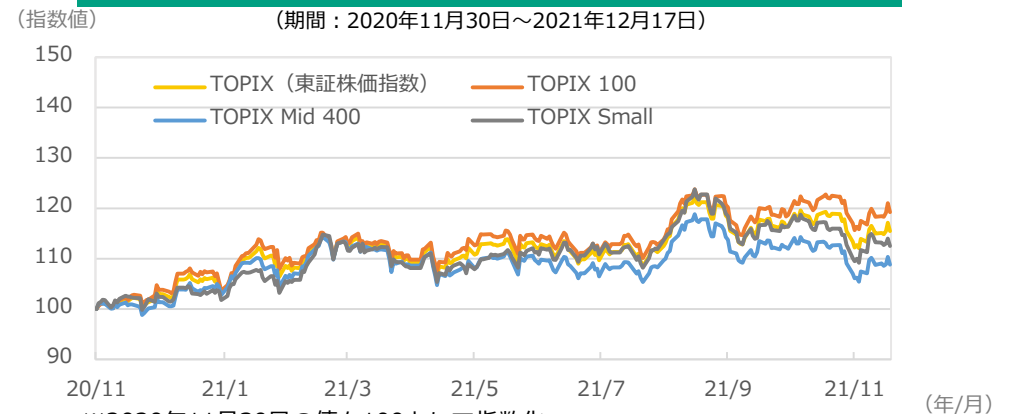
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202112_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2020年11月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成